

【米国】

3-4 月の市場動向トピックス

- 2020年3月の訪日米国人数は、前年同月比 87.0%減の 23,000 人であった。
- 2020年4月の訪日米国人数は、前年同月比 99.8%減の 300 人であった。
- 3月には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、日本政府による入国制限措置の拡大、米国政府による米国民に対する渡航中止勧告、また外出自粛要請、航空各社による大幅な減便・連休対応などにより、訪日者数は前年同月比で大幅に減少した。4月には米国に滞在歴のある外国人に対する日本への入国規制も強化されたことに伴い、更なる減少が見られた。

3-4 月の主なプロモーション活動

- ✳ ニューヨーク事務所では、新型コロナウイルスの影響による旅行の制限に伴い、世界的にバーチャルツーリズムへの関心が拡大していることから、JNTO が制作した 360° VR 動画をはじめ、日本の主要観光地をバーチャルに楽しむことができる素材を紹介したプレスリリースを発売。大手旅行媒体や Forbes といった大手一般媒体において多数記事化に繋げることができた。米国内の旅行需要回復までにはまだ時間がかかることが予想されるが、日本の観光に対する関心を喚起する取り組みを今後も継続的に展開していく。



左：JNTO プレスリリース
右：大手旅行媒体での露出

- ✳ 米国では新型コロナウイルス禍の状況下で各団体等が主催するウェビナーが盛んにおこなわれている。例年 3 月末から 4 月に行われる MTS (Mountain Travel Symposium) は、イベント自体は中止となったが、4 月 28 日に特にアドベンチャーツーリズムにおける新型コロナウイルスとの向き合い方についてウェビナーが実施され、いくつかの提案があった。また、USTOA (全米ツアーオペレーター協会) 主催のウェビナーでは、各デスティネーションの受け入れ体制が、旅行者側にとっても従業員等受け入れ側にとっても十分に整っているという安全性の訴求が重要であるという見解があった。今後は新型コロナウイルスとの共生という旅行形態に変化することが予想されるため、今後とも方々からの情報収集を密にし、日本の安全性について訴求できるプロモーションを実施していきたいと考えている。

写真：MTS の提案 (人々が集まる場所へのヘルスステーションの設置)

MTS の提案 (Giveaway 案としてフェイスマスク、サニタイザー等を制作・配布)

